

議会答弁等の進行管理について（R8年3月末現在）

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実施済、4 実施しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
1 未着手(2件)							
1	R8年3月定例会	学校教育部	学校給食課	不登校やアレルギー等の理由により給食を利用していない児童生徒の実態把握及びその保護者への経済的な支援策について問う。	給食を利用しない児童生徒については、保護者と密に連携、面談し確認している。経済的支援策については、公平性や持続可能性等を踏まえ適切な在り方を研究する。	1 未着手	経済的支援策について、財源や事務負担等総合的に整理するとともに、他市先行事例も参考に制度設計を進める。
2	R8年3月定例会	学校教育部	学校給食課	資源循環型の給食運営や食品ロス削減の取組について、今後どのように進めていくのか、市の見解を問う。	食品ロスの削減については、学校教育の現場で残食を減らす指導を継続して行うとともに、特に未使用の牛乳に関し、循環させる有効な方策がないか検討を進める。	1 未着手	引き続き、学校現場での環境教育に取り組みつつ、未使用牛乳にあっては、その利活用に関し有効的な仕組みを構築する。
2 着手(22件)							
3	R6年6月定例会	危機管理部	危機管理課	狭い総合福祉保健センターで福祉避難所と災害ボランティアセンターの二つの役割を同時に担うことは困難、代替策を講じるべきである。	災害ボランティアセンターの候補地については、できる限り早い時期に調整を進める。	2 着手	社会福祉協議会等と候補地について協議中。
4	R7年12月定例会	医療政策部	医療政策課	現三田市民病院跡地活用について、募集がなかった事態を受けて、課題をいつまでに整理し、再度公募を行う時期をどのように想定しているか。	不調の要因分析と課題整理を行い、再公募の方針決定を行う。再公募にあたっては、事業概要等の事業者に向けた説明会を開催し、令和8年4月下旬を目途に再公募したいと考えている。	2 着手	再公募にあたって、事業概要等の事業者に向けた説明会を開催予定。課題整理、方針決定を行った後、令和8年4月下旬を目途に再公募していく予定。
5	R5年12月定例会	財務部	公共施設マネジメント推進課	公共施設に附帯する駐車場について、有料化を検討してはどうか。	R7年度の公共施設使用料の見直しに際して、駐車場の有料化の適否を判断していく。	2 着手	有料公園の一部の駐車場において、有料化を実施するべく公園施設の指定管理者との協議を進めている。
6	R8年3月定例会	市民生活部	地域づくり推進課	フラワータウン市民センターの改修工事について、どのように進めていくのか。	市民や利用者の意見を聞く必要があり、使用頻度なども見極めながら、適切な改修に向けた検討を進めている。利便性・安全性の確保と費用対効果の両立を念頭に検討していく。	2 着手	市民や利用者の意見を踏まえ、使用頻度なども見極めながら、利便性・安全性の確保と費用対効果の両立を念頭に適切な改修に向けた検討を進める。
7	R7年6月定例会	市民生活部	文化スポーツ課	・歴史資料収蔵庫の耐震・耐火・防火対策は早急にすべきではないか。 ・所蔵資料は原則公開とすべきであり基準を明確にする必要があるのではないか。	・公共施設マネジメント基本方針を踏まえ、資料保存に適した市内施設への移転について検討する。 ・公開・非公開の基準を明文化し歴史資料の活用を図る。	2 着手	・歴史的資料の整理・調査を行い、資料保存に適した市内公共施設の移転の検討を行う。 ・資料の公開・非公開基準を明文化し、資料の活用を図る。
8	R5年6月定例会	市民生活部	クリーンセンター	高齢者等のごみの出し支援について、戸別収集をどう進めるのか伺う。	戸別収集については、現状の自助、共助による支え合いを尊重し、維持することを前提に、どのようなことができるのか検討を進める。	2 着手	福祉収集の実施に向けた再度の検討を具体化するにあたり、次期一般廃棄物処理基本計画への位置づけを図るため、同計画の策定に着手する。
	R5年6月定例会	市民生活部	クリーンセンター	ごみ出し困難な高齢者・障害者の生活支援として、安否確認を含めた戸別ごみ収集が必要。市の考えを伺う。	ご自身でごみ出し困難な独居高齢者等を対象に安否確認を含めたごみの戸別収集実施に向け具体的な検討を進める。なお、自助、共助活動を維持するため自己負担導入も検討する。		

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実施済、4 実施しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
	R8年3月定例会	市民生活部	クリーンセンター	福祉収集の事業開始に向けた現在の検討状況と市の考えを問う。	戸別収集とヘルパーによるごみ出し支援の両面で具体的に検討を進めたが、費用面及び介護保険制度の活用面で課題があり実施に至っていない。次期一般廃棄物処理基本計画への位置づけを念頭に、早期の実施に向け調整していく。		
9	R7年6月定例会	市民生活部	クリーンセンター	資源ごみの違法回収業者対策のため、資源ごみ持ち去り禁止条例を制定してはどうか。	条例制定の方向性で取り組むこととし、注意看板を活用するなど地域と共に違法業者への取組を展開し抑止力を高めていく。	2 着手	条例内容についての検討とあわせ、三田警察署との情報共有、協議を進める。
10	R7年12月定例会	産業振興部	産業政策課	北摂三田第三テクノパーク構想は当面保留となったが、代わりとなる産業用地確保をどう進めるのか。	産業団地を整備するため、開発基本構想の策定に向けて庁内で検討を進める。	2 着手	産業用地の整備手法、候補地なども含め再点検をするため、庁内関係部署と検討を進めている。
	R7年12月定例会	産業振興部	産業政策課	市が収支不足を解消する施策として、企業誘致を力強く進める必要がある。企業誘致を進めて産業振興に力を入れないのか。			
	R7年12月定例会	産業振興部	産業政策課	企業誘致事業は延期となっており、今後の雇用創出推進施策をどのように取り組むのか。			
11	R8年3月定例会	産業振興部	産業政策課	大きく収益を作り出す事業が必要であることから、産業振興や企業誘致等への取組みが必要であるがどのように考えているのか。	産業団地を整備するため、開発基本構想の策定に向けて庁内で検討を進める。	2 着手	産業用地の整備手法、候補地なども含め再点検をするため、庁内関係部署と検討を進めている。
12	R7年9月定例会	子ども・未来部	子ども育成課	長期休業中の放課後児童クラブでの昼食提供の検討状況について	先進市の状況の把握と民間事業者との協議を行った。令和8年度の試行実施に向けて予算確保を進める。	2 着手	令和8年度の試行実施に向けて予算要求を進めるとともに、実施方法等を検討する。
13	R7年12月定例会	子ども・未来部	保育振興課	育児休業期間における保育施設在園継続条件の緩和について	現在の社会情勢は認識しており、制度の見直しは必要と考えている。待機児童の状況を見定め、市内施設運営事業者の意見を伺いながら検討を進める。	2 着手	待機児童の状況を見定め、市内施設運営事業者の意見聴衆のうえ、見直しを進める。
14	R6年12月定例会	健康福祉部	介護保険課	市域が広いことやヘルパー不足の問題もあって、地域によっては訪問介護やデイサービスの利用調整が難しい地域が存在している。このような地域間格差の是正についてどのように考えているか。	事業所が市南部とニュータウンに集中しており、地域間格差は認識している。サービスの安定的な提供に組みながら、農村部・山間部での利用者の状況把握に努め、対応を考えていく。	2 着手	該当事業者に対してアンケート調査を実施しており、集計を進め、状況把握に努める。

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実施済、4 実施しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組み内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
	R7年6月定例会	健康福祉部	介護保険課	地域間格差の是正については「状況把握に努め対応を考えていく」との答弁があったが、取組内容とスケジュールを伺いたい。	第10期介護保険事業計画策定にあたり予定している「事業者アンケート」において、該当事業者に対し、農村部・山間部での利用者の状況把握を行う。		
15	R6年12月定例会	都市整備部	都市デザイン課	フラワータウンでの円滑な人口循環を誘発させるため、フラワータウンから巣立った多くの若者たちを住み慣れたまちに戻って来やすくするための住環境を整備してはどうか。	フラワータウン再生アクションプランでは、人口循環を促すための住環境の整備を掲げており、手法等について検討している。	2 着手	賃貸住宅の供給可能性について令和8年度に委託による調査を実施予定。
16	R4年9月予算決算常任委員会	都市整備部	交通政策課	高齢者運賃助成制度について、基準日を4月1日のみとするのではなく、基準日は半年に1回程度とし対象者への周知連絡機会を増やすことを検討してはどうか。	高齢者運賃助成制度については持続性や利便性向上も含め、外部委員会を設置し高齢者の外出支援のあり方を検討する中で協議していく。	2 着手	R5年度に制度の見直しに関する素案を作成。素案を基に制度を高める中で、運用や費用面で想定以上に影響が大きくなることが判明したことや、R8年度から県全域で路線バスの交通系IC統一化など変化する交通環境を踏まえ、R8年度に様々な視点から検討し方針を示す。
	R4年9月予算決算常任委員会	都市整備部	交通政策課	高齢者運賃助成制度についてICOCAの導入は検討しないのか。	高齢者運賃助成制度については持続性や利便性向上も含め、外部委員会を設置し高齢者の外出支援のあり方を検討する中で協議していく。		
	R6年6月定例会	都市整備部	交通政策課	見直し予定の高齢者運賃助成制度では、任意取得のマイナンバーカード利用や、対象地域を限定されており、一部の市民が利用できない点は問題では。	制度見直しは柔軟な対応を視野に入れ、必要とされる方にとって利用しやすい持続性のある外出促進となるよう検討する。		
17	R3年6月定例会	都市整備部	建設課	都市計画道路三輪下田中線の今後の計画及び横山天神線の延伸計画について	都市計画道路両路線の取組については、現在事業中の道路事業の進捗状況や完成時期等を見ながら、着手時期を見極める。	2 着手	現在実施中の道路事業や駅前周辺の大規模事業の進捗や完成時期を見ながら、着手時期の判断を行う。
18	R4年12月定例会	都市整備部	管理課	花のまち三田の推進について年間を通じて、市内全域で目につく場所に花を植えることで、市民に花への愛着を持ってもらえると考えるが、市の考えを伺う。	高齢者から子供まであらゆる世代が一緒になって、身近な環境を花で美しく彩られる取り組みを進め「花と緑があふれるまち三田」のまちづくりを目指す。どのような取り組みができるのか、近く、庁内での横断的なプロジェクトチームを立ち上げ、検討を進める。	2 着手	現在、市にあった内容を検討中である。
19	R5年9月定例会	都市整備部	管理課	道路管理について、パトロールや美化活動を組み合わせた（仮称）「キッピーロードサポーター制度」の導入を検討してはどうか。	現在実施している「道路の管理保全活動に関する協定」を締結している団体に意見を伺いながら、官民連携の仕組みづくりについて検討する。	2 着手	現在、市にあった内容を検討中である。
20	R7年9月定例会	都市整備部	管理課	ドッグラン課題整理のために試験的にドッグランを設置できないか。	試験的设置を含め他市の事例なども参考にしながら、課題への対応を検討する。	2 着手	他市の事例を調査中。

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実施済、4 実施しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組み内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
21	R6年12月定例会	都市整備部	管理課	公園管理報奨金について、物価高騰や担い手不足により活動継続が難しくなっている。報奨金単価の見直しなど、制度の拡充ができないか。	活動団体のモチベーション維持及び活動意欲を高めるため、報奨金単価の見直しを進める。公園周辺の敷地外清掃への助成や公園面積区分については、見直しを検討する。	2 着手	報奨金単価見直しについてR8年度予算化済。 公園面積区分の見直し検討については活動団体にヒアリング中。 ※R7年12月定例会同様の質問
	R7年12月定例会	都市整備部	管理課				
22	R5年12月定例会	学校教育部	学校再編課	上野台・八景中学校の統合新設校の構想について、現在の考え聞く。	今後、具体的な教育目標や教育内容をまとめるとともに、子どもたちの多様な教育ニーズにも柔軟に対応できる施設のあり方について、構想としてまとめていく。	2 着手	新中学校の整備に向け、より良い学校づくりをめざすうえで、当該校区の児童生徒、保護者、地域住民及び市立学校の全教職員を対象にアンケートを令和6年度に実施した。アンケート結果等を踏まえ、令和8年2月に基本構想・基本計画（案）を策定し、市民意見の募集を行った。市民意見に対し、市の考え方を示し、基本構想・基本計画の策定を予定している。
23	R7年12月予算決算常任委員会	学校教育部	学校再編課	新統合中学校（上野台・八景中学校）建設事業について 今後の進め方(情報発信)	基本構想・基本計画について、R7年度内の公表を予定。市民意見の募集を市広報紙やホームページでの周知、地元川除区、対象校区の保護者への周知に努める。	2 着手	令和8年2月に基本構想・基本計画（案）を策定し、市広報紙やホームページで周知をし、市民意見の募集を行った。市民意見に対し、市の考え方を示し、基本構想・基本計画の策定を予定している。
24	R6年3月定例会	学校教育部	学校給食課	教育委員会は市学校給食運営協議会から学校給食のあり方について答申を受け、学校給食への三田肉の活用について、どのような方針をもって今後取り組むのか。	今後、三田肉をはじめ地産地消の充実を図っていく。	2 着手	三田米や三田産野菜等の活用を優先し、年間を通じた地場野菜や特産品の提供を進める。 なお、三田肉等については今後の状況に応じて検討する。
3 実施済(11件)							
25	R6年12月定例会	総務部	人事戦略課	中途採用者の公務員と会社員では、前歴換算に格差がある。格差解消を図れないか。	中途採用者がこれまでの経験を発揮し、より早く活躍できるよう、処遇や昇格も含め、考えていく。	3 実施済	初任給決定における前歴換算の算定が官民間問わず経験や能力に則したものとなるようR8年度向けに運用を見直す。
26	R7年3月定例会	市民生活部 行政委員会	環境政策課 農業委員会 事務局	さんだゼロカーボンシティ推進計画における農地ソーラーシェアリングの可能性についての検討状況について	農家の財産活用が前提であり、まずは先進事例の調査研究を実施し課題精査をおこなったうえで周知啓発に努める。	3 実施済	国において、営農型太陽光発電の許可基準の厳格化の動きがあるところであるが、令和8年4月の各地区別農会長会において、営農型太陽光発電の制度について周知を行った。

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実施済、4 実施しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組み内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
27	R7年3月定例会	産業振興部	農業振興課	農業機械の導入費用は小規模農家、新規就農者にとって大きな負担となっている。中古農機など小規模農家営農継続支援事業の補助対象を拡充してはどうか。	時代に応じた制度となるよう先進事例の調査研究を進める。	3 実施済	従前の小規模農家営農継続支援事業を見直し、令和8年度から中古農機を対象に加えた。併せて予算額を7,500千円 (+1,000千円) 確保した。
28	R7年3月予算決算常任委員会	産業振興部	農業振興課	小規模農家営農継続支援事業の補助対象を拡充してはどうか。	農業者からご相談をいただいている。R7は制度見直しを予定しており、其中で検討する。	3 実施済	従前の小規模農家営農継続支援事業を見直し、令和8年度から中古農機を対象に加えた。併せて予算額を7,500千円 (+1,000千円) 確保した。
29	R7年12月定例会	産業振興部	農業振興課	認定新規就農者の年齢要件を緩和し、新規就農者を増やしてはどうか。	年齢要件の緩和に向けては、国と協議を進めており、年度内の実施に向けてスピード感を持って取り組む。	3 実施済	国協議との協議、要綱改正を完了し、令和8年1月から年齢要件を緩和した。
30	R7年12月定例会	産業振興部	農業振興課	研修を受け入れる農業者からは経済的支援をして欲しいとの声がある。実態を調査して欲しい。	研修生の受入れをする農業者の調査を行う。	3 実施済	研修生を受入れを行う農業者の開き取りをした結果、研修生が農作業に従事する際に必要となる消耗品費に対する支援を求める声があった。今後、受入れ元への経済的支援のあり方については、まずは研修の実施状況の検証を行い、適正な費用負担について研究を進める。
31	R7年3月予算決算常任委員会	健康福祉部	介護保険課	介護人材が不足している中、YouTube等による介護の仕事の魅力発信が必要と考えるが、市の考え方は。	介護事業の重要性は十分認識しており、介護人材確保も必要と考えている。介護の仕事の魅力発信については今後検討していく。	3 実施済	介護の仕事の魅力発信に向けた取り組みとして、PR動画を作成、公開した。
	R7年6月定例会	健康福祉部	介護保険課	YouTube等による介護職の魅力発信については「今後、検討する」との答弁があったが、取組内容とスケジュールを伺いたい。	市内事業所と連携を図り、介護の仕事の魅力を発信するための動画作成を進めており、秋ごろを目途に作成する。		
32	R6年12月定例会	都市整備部	管理課	三田駅前駐輪場における洪水時の避難確保・防水計画への実行性について	避難経路図を分かりやすく明示するとともに避難訓練を年1回以上実施する。	3 実施済	駐輪場内に避難経路図を明示し、避難訓練を実施した。
33	R7年3月定例会	都市整備部	建設課	ベデストリアンデッキにおける排水機能等の不具合箇所の修繕について	R7年度に実施予定の構造点検に加え、排水機能についても点検し、必要に応じて修繕を実施する。	3 実施済	R7年度に実施した点検の結果に基づき、R8年度から排水機能の改善や舗装タイトルの修繕等に着手する。
34	R6年6月定例会	学校教育部	学校給食課	給食センターの建替と給食業務の委託化について、施設の新設や改修、維持管理に係る運営手法も含めた施設整備の考え方を問う。	給食センター基本構想策定支援等事業で、将来の給食数を見据えた施設整備のあり方や運営について、民間活力も含めて検討し、基本的な方向性を示していく。	3 実施済	効率的な施設整備と運営手法の検討を行った基本構想(案)をR8.5月策定予定。R8下半期から諸室や配送計画等の詳細をまとめた基本計画を策定するとともに、民間活力導入の可能性を調査する。

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実 施済、4 実施 しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
35	R7年9月定例会	学校教育部	学校給食課	給食センターの熱中症対策、厳しい労働環境の改善案と職員が自費で購入してる水分補給について支援方法について	新たにウォーターサーバーや製氷機等の設置、公費による飲料の提供等効果的な対策を来年の夏迄に実施する方向で準備を進めたいと考えております。	3 実施済	効率的な暑さ対策として、空調服の支給や公費による飲料提供に向けたR8年度予算化済。夏季への備えとしてR8.6月を目途に予算執行し、環境改善に取り組む。
4 実施しない(2件)							
36	R5年6月定例会	市民生活部	クリーンセンター	プラスチックごみの分別収集の開始時期について伺う。	プラスチックごみの分別収集は、喫緊の課題と認識している。可能な限り早期に分別収集を開始する。なお、分別収集・選別・圧縮・梱包等については既存の民間事業者の施設を活用する。	4 実施しない	R6年度に先進地視察を実施し、分別収集にかかる市民の理解や財政負担など様々な課題があることを把握した。今後、R10年度に完成する新ごみ処理施設で行う焼却エネルギーを使った発電状況や他市の状況等を踏まえ、分別収集の導入可能性について慎重な検討を行う。
37	R4年6月定例会	都市整備部	建設課	ラウンドアバウト整備に向けた考え方について	前回調査から5年が経過し、その間、関西学院大学の学部増設、R7年4月に学生寮の開寮など、学生の通学環境等に変化が見込まれることから、再度、交通量調査を行うなど、引き続き調査研究を進める。	4 実施しない	R7年度に再度、横断歩行者等の交通量調査を実施し、ラウンドアバウト整備の適用目安を満たさない結果を確認したため、整備を行わないこととする。